

中高年の 仕事と転職 在宅ワークの 可能性



著者紹介 Yuki

運営ブログ [女性に自由とお金を](#)

著作 <https://ladys-cash.com/lp-mouhitu/>

ネットで稼ぐ
在宅ワークなら
時間が自由で
高収入目標も出せる！

ただリアルな仕事は
厳しい側面を持っています
良い副業を知っておくことが
何故重要なのか？
官公庁の資料をもとに
理由をご説明します

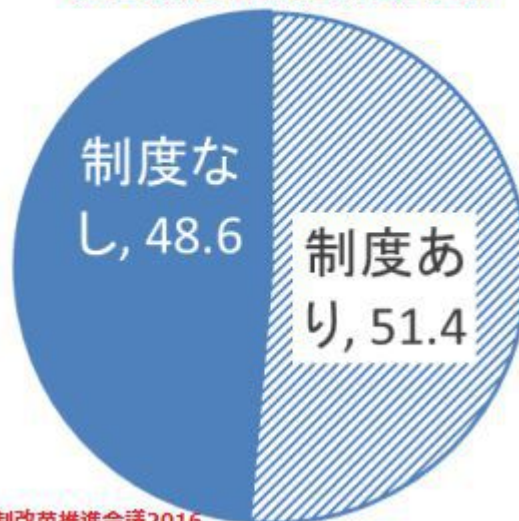
日本の転職事情アンケート

規制改革推進会議 2016 より

<http://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/suishin/meeting/wg/jinzai/20161202/161202jinzai01.pdf>

【早期退職優遇制度の有無】

大企業ほど早期退職に積極的



規制改革推進会議2016

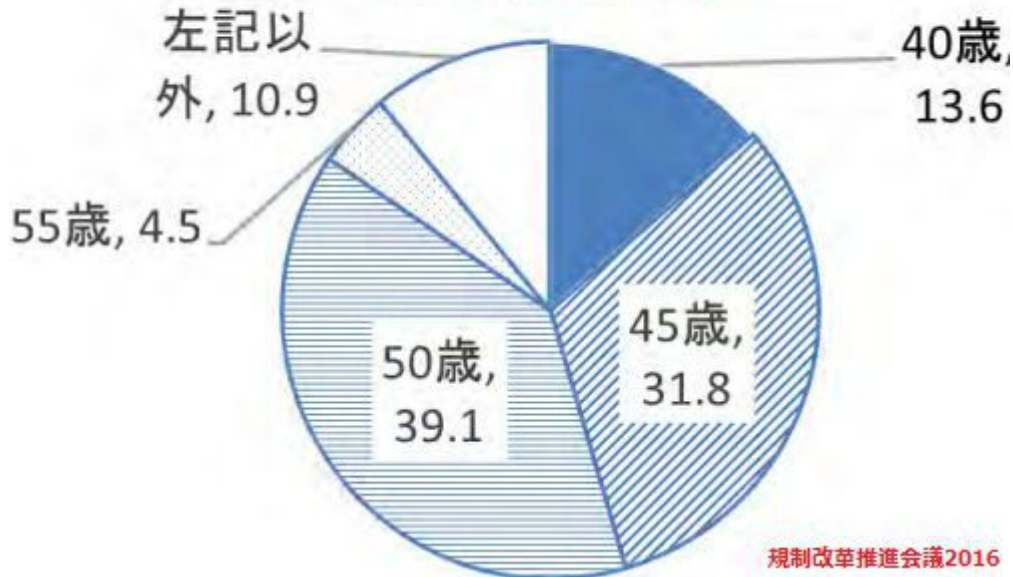
企業は早くから退職勧告を行わない

中高年の割合が高い、いびつな年代別構成の一方で、管理職のポスト等は限られており、せっかく育成されてきた中高年人材に対して、十分な活躍の場が与えられていないのではないかという指摘がある。

以上 引用

【早期退職優遇制度の適用年齢】

企業では転職支援に積極的



①企業としては、新卒一括採用後の教育投資の回収期間は定着してほしいがゆえに、選抜の結果を曖昧にしてモチベーションを維持しようとする（個別企業にとっては、短期的には合理的←社会全体としては、長期的には課題が多い）

②一方で、企業は、一定年齢以上（45歳、50歳等）になると能力や経験に見合った仕事を用意できなくなり、早期退職や転職支援に前向きになる

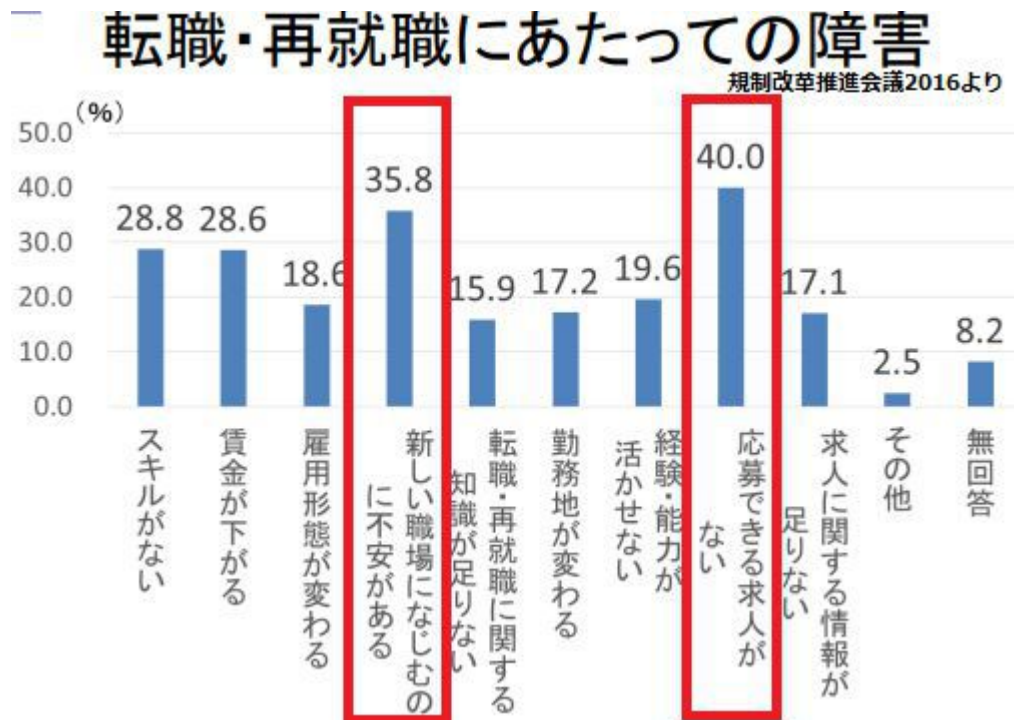
③しかしながら、その年齢では賃金カーブが上昇しきっており、特に大企業から中小企業に転職すると賃金が大幅に低下する（家族からも、転職を反対される可能性が大きい）

④さらに、年代が高くなると正社員としての転職も難しくなってくる

⑤結局のところ、中高年の社員は転職したくても転職を思いとどまる傾向

以上 引用 以上 引用

転職の悩み



転職を希望しながら転職しなかった理由（複数回答）を、45歳～74歳の男性についてみると、上位3位は、「新しい環境に不安だったから」「賃金が下がるから」「経験・能力を活かせないと思ったから」。

男性社員の転職の二大ネックは、①賃金の低下、②環境変化への不安

転職したいのに転職できない状況は、長期的には本人にとっても企業にとってもマイナス

以上 引用

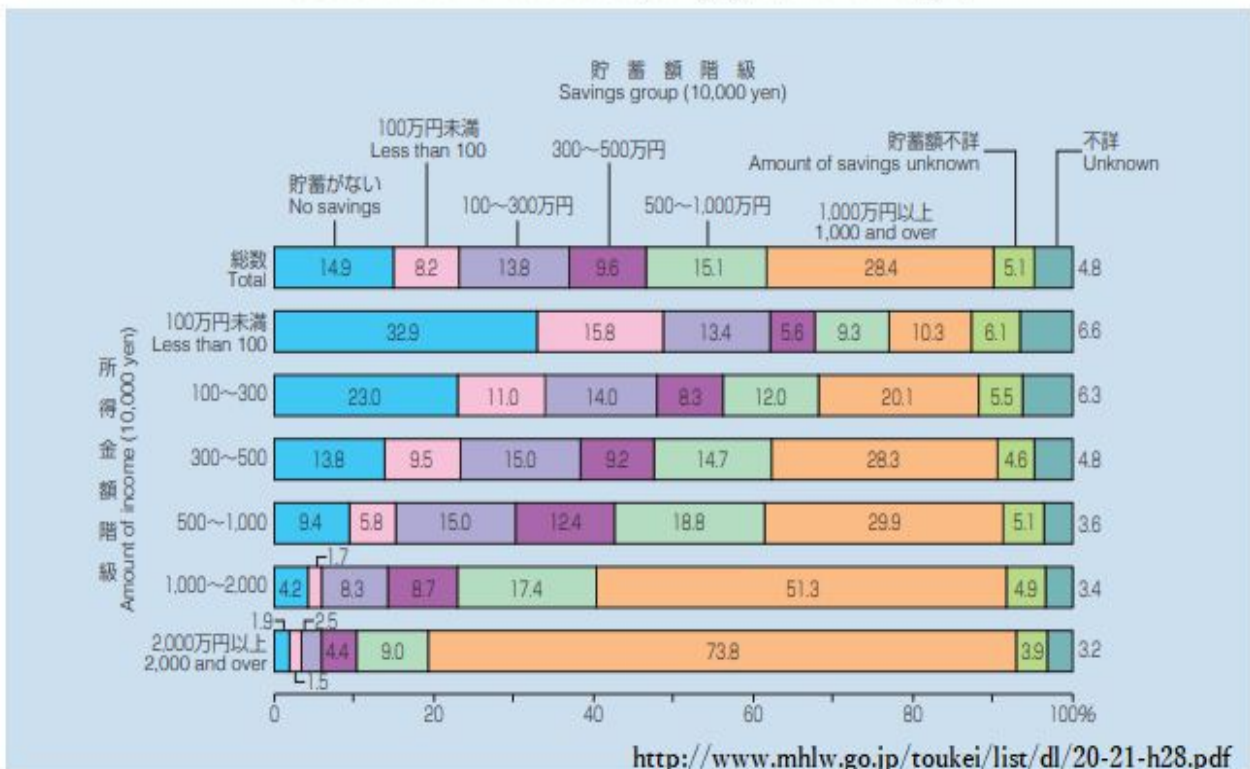
収入と貯金

平成28年の貯蓄がない世帯は、14.9%

厚生労働省より

所得金額階級別にみた貯蓄の有無－貯蓄額階級別世帯数の構成割合

Percent distribution of households by savings group and income group



<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/20-21-h28.pdf>

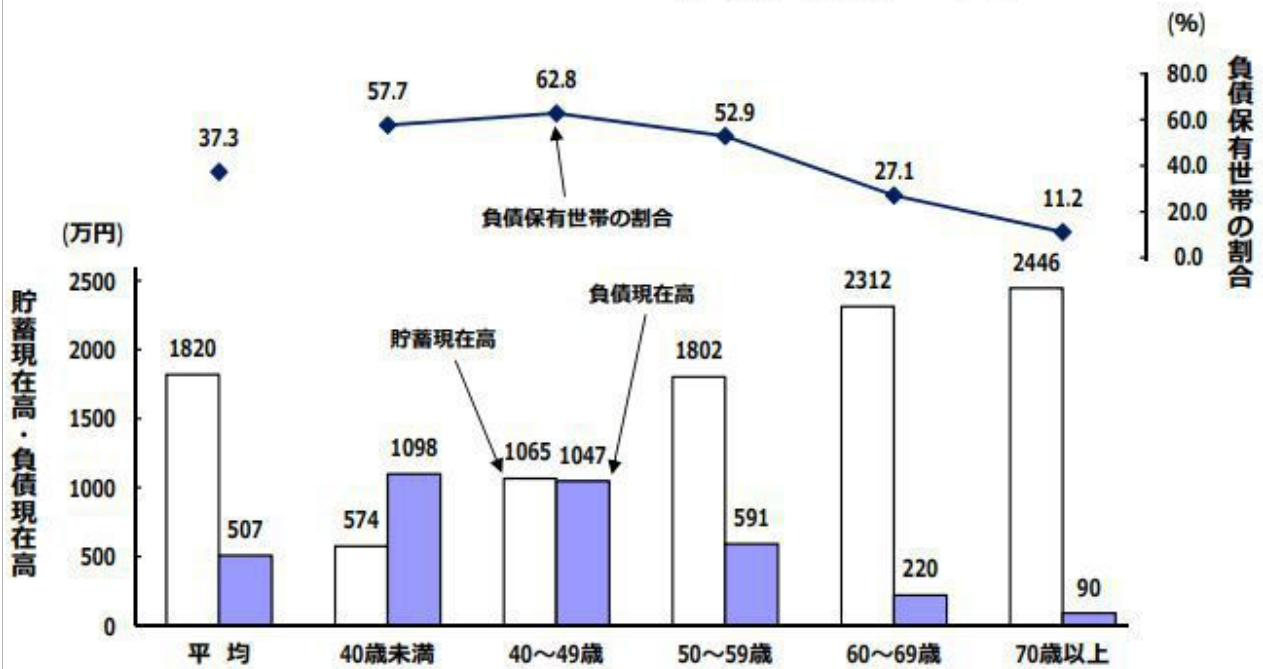
以上 引用

収入がじゅうぶんにある世帯での借金が増えています。クレジットカードやローンが常態化して「いつでも返せる」と借金をしている感覚がマヒしているのです。

40代では約半数の人がローンを持っています。仕事が変わり収入が変わると、滞納する例も増えてきました。副収入があれば、給料が増えなくても貯蓄を増やせます。

年齢と貯蓄 負債

図Ⅲ-1-1 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高，負債保有世帯の割合
(二人以上の世帯) - 2016年 -



厚生労働省平成 28 年 引用

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/20-21-h28.pdf>

二人以上の世帯とは夫婦や家族がいる世帯。ローンする人の割合が高いことがわかります。

貯蓄も増えますが、多い人と少ない人、貯蓄ゼロの人に分かれています。平均すると高い金額が出ますが、中央値は500万円前後とされています。

ローンは当たり前になりました。支払能力よりも借り入れ可能な金額が増えすぎています。収入確保は中高年の方ほど重要性が増しています。

生活意識調査

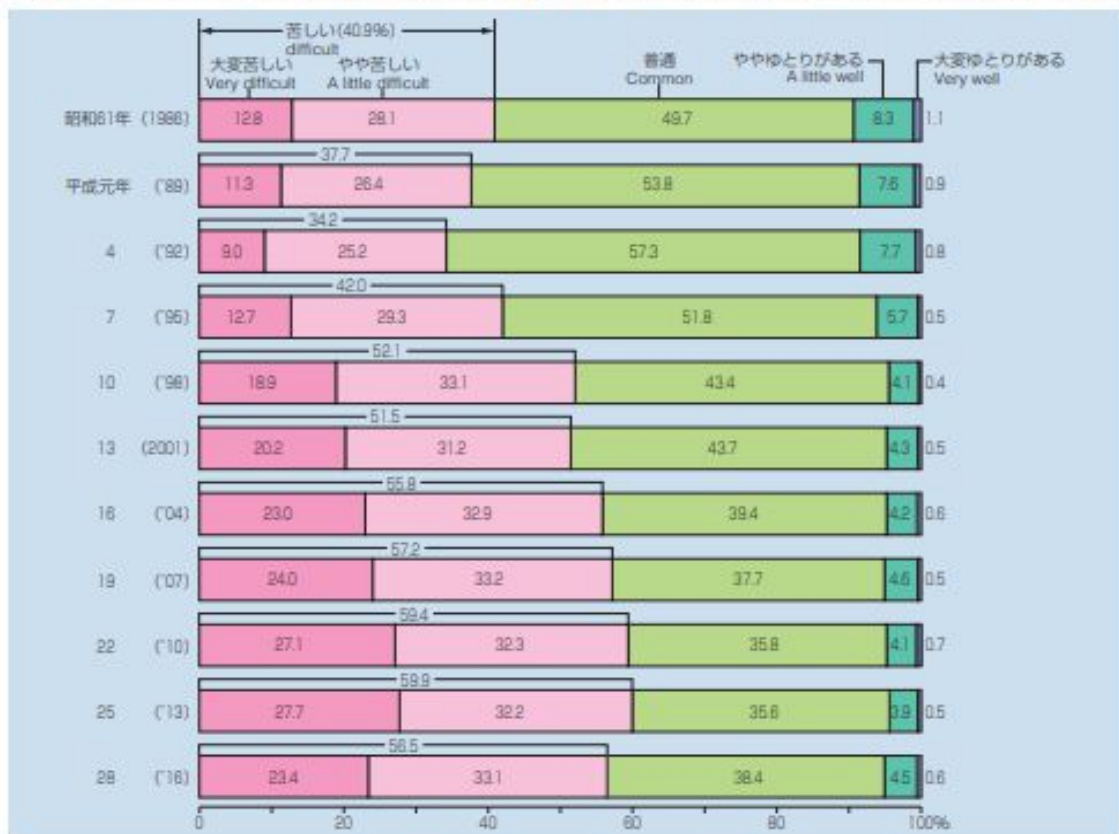
平成28年の生活意識は、「苦しい」（「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせたもの）は、56.5%

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/20-21-h28.pdf>

厚生労働省より

生活意識別世帯数の構成割合の年次推移

Trends in percent distribution of households by self-assessed living conditions, 1966, 1969, 1992, 1995, 1998, 2001, 2004, 2007, 2010, 2013, 2016



各種世帯別にみた生活意識が「苦しい」とした世帯の割合の年次推移

以上 引用

副業で困るのは「時間」「収入」。夜遅くまでバイトや副業するよりも、良い仕事を選べば解決。

それはこれからご提案する理想的な仕事にあるのです。

注目される在宅ワーク



総務省 テレワークの可能性 より

以上 引用

テレワークは在宅ワーク。

副業でも本業でも取り組むことができます。

仕事と家庭の両立。自由時間を作り出す。

21世紀に注目されている分野なのです。

在宅ワークと言っても、

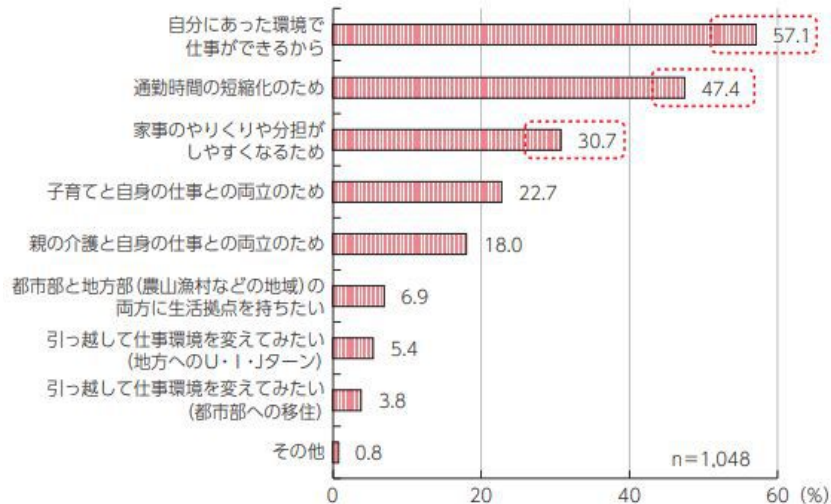
オフィスやカフェ、図書館などモバイルで外で仕事ができます。

モバイルでインターネットするなら、

ノートパソコンやスマートフォンでどこでも仕事ができる！

メリットたくさん

図表 4-3-3-7 テレワークを利用してみたい理由



(出典) 総務省「社会課題解決のための新たなICTサービス・技術への人々の意識に関する調査研究の請負」(平成27年)

以上 引用

在宅ワークは

- ・職種次第では高収入
- ・100%自分の都合の環境で仕事できる
- ・通勤時間 拘束時間がゼロ
- ・家庭との両立がしやすい
- ・スキルアップになる
- ・将来性があり仕事の幅が広がる
- ・ネットで友人知人を作れる

収入が天井知らずで不労所得も目指せる在宅ワークとは？

これからのメールにご期待下さい！